

| | | 評価項目 | 評価委員会からのコメント |
|------------|----|-------------|--|
| 学校全体の様子 | 1 | 教育目標・方針 | 教育目標や方針について、児童も保護者も理解してくださっている評価が得られている。しかしごく一部の児童が共有できていないという結果があり、今後の課題となってしまっている。様々な場面で学校をよりよくしていこうという熱意を感じます。この学校は他校と比べると標準とされるレベルが高く、よりよい学校づくりはなかなか難しいと思います。あまり評価されない項目の改善も大切だとは思いますが、良いところをより伸ばすよう頑張ってください。 |
| | 2 | 児童・生徒の様子 | 明るく素直で生き生きとした楽しい学校生活を送っていると児童も保護者も日々の生活の中から感じ取っている姿が伺えるよい結果である。 |
| | 3 | 基本的生活習慣 | 52%の児童は、基本的習慣が身に付いていると思っているが、先生方(16%)や保護者(23%)が「ややあてはまる」を選択した。「よくあてはまる」になるにはどうすれば良いのかを、児童たちと共有する必要があると思います。服装・通学態度には問題無いように感じているが、通学見守り(交通安全週間)時にあいさつが返ってこない。班登校で班にばらつきがある。先頭(班長)があいさつをするところは、後ろの人も続く傾向がある。地域活動は先生方をはじめ、PTA会長さんが一生懸命やっていることを感じる。 |
| | 4 | 児童・生徒理解 | 努力をしているが、先生には認められていないと思っている児童がいるということは、誉め方、叱り方の方法に何かをプラスすることで、児童の能力が伸びるのではないのでしょうか。 |
| | 5 | 健康・安全・安心 | 保護者は99%の方々が充実していると感じているが、若干の児童が充実していないと感じていることへの配慮が必要なのではないのでしょうか。 |
| 学力向上の取組 | 6 | 分かる授業 | 分かる授業は、先生方の指導が保護者も児童もAとBをあわせると実践されていると、よい評価が得られていると思います。 |
| | 7 | 個に応じた指導 | 習熟度別学習のおかげで、成果が上がっていると感じている児童が多いことは、学習への意欲がわいてきていることだと思います。 |
| | 8 | 学習習慣 | 放課後学習の充実により、多くの学習の機会を得ることができ、学校内では充実していると感じているようである。家庭での学習の在り方には格差があるので、個々の家族でのあり方を把握する必要があるかもしれません。 |
| | 9 | 情報教育 | 電子黒板やタブレットPCなど、学習環境の中に完全に組み込まれていることが、分かりやすい授業のベースになっていることが伺われる。 |
| | 10 | 学校図書館の活用 | 図書館を利用することが日常の学校生活の中で、必要不可欠になっていることが伺われる。児童、保護者共に90%以上の方々が活用されていると実感しているようである。 |
| 社会性・人間性の育成 | 11 | 人権教育 | A、Bをあわせて92%の児童が人権教育を行っている述べているのに、保護者が79%。特にAの児童と保護者の差が38%あるのは、家庭での親子のコミュニケーション不足が招いている結果だと思います。 |
| | 12 | 道徳教育 | 規範意識が薄い昨今、人の道をしっかりと教え、徳のある心を育てる教育を、保護者を含めじっくりと構えて、問いていかなければいけないのではないのでしょうか。道徳の授業を見ていて、学年に応じて他者への思いやりの心を育てるとても良い授業でした。 |
| | 13 | 教育相談 | 一人一人の居場所がある学校づくりをすることは、とても難しいことだと思いますが、個々の児童への目のかけ方、手のかけ方、傾聴の仕方を共に考えていくことが大切であると思います。 |
| | 14 | 人間関係づくり | 児童育成への学校側の取り組みが、保護者の方々に理解していただいている結果のあらわれだと思います。 |
| | 15 | 自主的な活動 | 自ら進んで活動することができていると評価していることは、とても素晴らしいことだと思います。高学年が低学年を上手に導いていることが、とても良い関係づくりができているのだと思います。 |
| 地域・保護者・連携 | 16 | 情報発信 | 児童を通してお便りを配布するときは、「今日は～についてのプリントを配布します。保護者に読んでもらって一緒にお話し合いをしてください。」等、助言することで興味・関心を抱くのではないのでしょうか。 |
| | 17 | 相談への対応 | 相談内容は異なれど、いろんな対応を望む保護者の増加は年々増えてくると思います。マタニティーブルーから始まり、自己中心的な考えをなさる方へのメンタル的対応は大変だと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。 |
| | 18 | 学校への参加 | 参加しやすい環境づくりをくださっている学校側の配慮に、保護者の方々は高い評価をしてくださっております。ただし、一部の方々により良い教育環境作りに協力して下さるよう理解を求めることも、必要ではないかと思えます。これからの取り組みを検討されているとの説明を聞き、今後の否定群が少なくなればと思います。結果が楽しみです。 |
| | 19 | 地域との連携 | 学校、家庭、地域があって、一人の子供がより多くの体験をし、いろいろな知識を得ていることの認識が薄れてきているのではないかと。人は一人で生きていけない、お互いに支え合って生きていることの大切さを学んでほしい。七丁目南町会でもちつき大会があり、七丁目の地域の方はもちろん、他の町会(3人)の方も参加して、子供たちも木うすでのちつきを楽しんでいた。 |
| | 20 | 意見の反映 | 学校運営に意見の反映をしていることを、伝え続けるしかないのでしょうか。説明をしていても聞いていないとか否定的な答えしか返ってこない場合もあります。 |
| 各学校の特色ある教育 | 21 | 学校行事の取り組み | 保護者が97%、児童が91%とほとんどの方々が参加し、活動の様子を見てくださっているとは、とても協力的な環境なので教育活動ができているのではないのでしょうか。 |
| | 22 | 基礎・基本の定着 | 78%の児童がマスタータイムや寺子屋で基礎基本の学習をきちんと身に付けていると答えているが、残りの21%の児童には更なる助言が必要のようである。 |
| | 23 | 自主的な休み時間の活用 | 自主的な休み時間の活用は、校庭及び図書館などで十分行われていて、楽しく過ごしている様子が伺われます。 |
| | 24 | 異学年交流の推進 | 高学年になると集団で行動することに少し抵抗を感じる年齢になるため、このような結果があらわれてくるのではないのでしょうか。これからの取り組みを検討されているとの説明を聞き、今後の否定群が少なくなればと思います。結果が楽しみです。 |
| | 25 | 外部人材の活用 | 外部人材を活用し、多彩な教育活動の充実を図っていることの周知があまりできていないと感じる方々が若干いるという結果ですので、もっとPRをした方がよいと思われます。 |